



■あの日あの時—忘れてはいけないこと—

2011（平成23）年3月11日14時46分、三陸沖を震源とする最大震度7（M9.0）の東北地方太平洋沖地震が発生し、その後に発生した大津波により太平洋沿岸は壊滅的な被害を受けました。あの日あの時から13年が経ちました。

昨年8月、その地にある旧石巻市立大川小学校（宮城県）を訪れました。石巻市でも、多くの地域で震度6（弱～強）の激しい揺れが約3分間続き、その後に大津波が襲いました。大川小学校は、高さ約10メートルの大津波により全校児童108名の7割にあたる74名と教職員10名の84名が死亡、行方不明となりました。私が訪れた日は、その日のことが想像できないほど晴れ渡った空のもと自然豊かな景色が広がっていました。震災遺構として、現在もあの時のまま保存されている校舎等を目の当たりにし、多くの尊い命が失われたことに対して心が痛むとともに、改めて津波の恐ろしさを痛感しました。子どもたちが毎日元気に過ごしていたはずの教室棟の前には次のような碑が建立されていました。

2011年3月11日

いつもと同じ朝でした

「行ってきます」の後ろ姿を見送ったあの日

「寒かったですよ」とあたたかい手で抱きしめてあげたい

March 11, 2011-

It was a morning like any other.

On that day, we saw them off after telling each other "Have a nice day."

How we wish we could hold them in warm arms and say "It was cold, wasn't it?"

涙が止まりませんでした。保護者の皆様のお気持ちを思うと、いたたまれなくなりました。学校管理者として、自然災害に対する日頃の備えと危機管理意識を高めておく必要性を強く心に刻みました。

震災から13年を前に、被災者の関係者の方がメディアのインタビューに対し「月日が経つとともに後悔ばかりが募ってくる」と答えていらっしゃいました。ご遺族の方々にお気持ちを思うと軽々に言葉を発することはできません。13年前のあの日あの時を前に、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、今を生きる私たちにできることは何かを今一度考えています。

【大川小学校沿革】

1873（明治6）年	桃生郡釜谷小学校として開校
1985（昭和60）年	大川第一小学校と大川第二小学校が統合 大川小学校として現在の校舎が完成
2011（平成23）年3月11日	東日本大震災の津波で被災
2018（平成30）年3月31日	閉校

■旧大川小学校に設置されている碑

学校が残りました

思い出が残りました

そして これからも

われらいま きょうの日の 歴史を刻む

われらこそ あたらしい 未来をひらく

The school remained here.

Memories remained,too.

And more to come……

We will now carve the day called today in history.

We are the who will open up a new future.

